

公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会

会報

平成 28 年 10 月号



鍼灸祭り開催！

東洋療法推進大会 35 周年記念大会
in 品川プリンス

- 目次 -

- P1** 巻頭言
- P2** 学術研修会
- P5** 鍼灸祭り
- P7** 東洋療法推進大会 in 東京
- P13** あはき天来～コラム～
今後の予定
- P14** 千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

巻頭言

会長 石川 英樹



天高く馬肥ゆる秋、会員の皆様にはますますご壮健のことと拝察いたします。
また日頃から会の活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。
私も含めメタボ体質が多い理事一同、心と身体を引き締めなければならない季節ともなりました。

さて、昨今は健康長寿が叫ばれる世の中となり、予防医学の注目度は日に日に高まっています。そして、私たち鍼灸マッサージ師は正に予防医学の専門家でもあります。
今ここで私たちが何をするか、どう動くかによって百年後の立ち位置が大きく変わってくるかもしれません。

個人的な考えですが、鍼灸マッサージは世の中で最も優れた医療だと思っております。しかし行政の考え方とは隔たりがあり、悔しい思いをしているのは私だけではないと思います。

鍼灸マッサージは医療なのか医療類似行為なのか、鍼灸マッサージの定義は、エビデンスは、と様々な議論が交わされている現状ですが、我々が今一番に考えなければならないのは、当然、目の前の患者様の健康であり、そして日本型医療制度の将来だと思います。

2030年には大規模な医療福祉制度の改革も控えております。

今、何をすべきか。

何をすれば十年後百年後の後輩たちに胸を張れるのか。

何をすれば本来の能力通りの力を行政に、県民の皆様に理解して頂けるのか。

未熟な私は、まだ明確な答えを持っていません。

しかし、一人でも多くの方に鍼灸マッサージを受けて頂き、一人でも多くの方に鍼灸マッサージとは何なのかを知って頂くことが、鍼灸マッサージ業界の未来に繋がっていくことだけは分かっています。

その為にも今出来る事を一つずつ積み重ねてまいります。

今後とも会員の皆様のご指導ならびにご協力をよろしくお願い致します。

☆☆第 1 回学術研修会報告☆☆

志茂田典子（アロマセラピー）

×

小林詔司（積聚）

本年度第1回学術研修会7月31日を志茂田典子先生（日本鍼灸神経科学会会長、今年度第 19 回日本アロマセラピー学会学術総会会長）に、午前の部として、アロマセラピー、アロママッサージの理論と実技で、実地的な知識と技術をわかりやすく教えていただきました。

「アロマセラピー」はフランス語由来で、現在は英語で「アロマセラピー」も使われることが多いです。

最近では病院で医師や看護師などが医療の現場でも使うことも多くなってきました。

私たちにとってなじみ深いバスクリンなどは、香りの品質が良いですし、またお風呂に塩を入れるだけでもよいそうで、志茂田先生はクナイプがお好きだそうです、お風呂に精油を少し垂らすのもとてもよいそうです。

精油は植物から抽出されたもので、同じ植物でも花、茎、葉から採れたものでは香りに違いがあるそうです。

アロマは雑貨扱いなので、品質にばらつきがあるそうです。

「ペパーミント」は、ドラッグストアでも売られている日本薬局方の「ハッカ油」のこと。日本薬局方に載っているものであれば、安くて、品質も安心とのこと。

「ラベンダー」は鎮静効果が高く、精神的なイライラを落ちつかせるので、パニック発作などの時にも、画用紙を付箋のように切って精油をしみ込ませて香りを嗅ぐと良いそうですし、足湯に入れても効果が高いそうです。

また不妊症などにも応用でき、痛みにも良いので、月経痛などでも用いられる。他にも、座浴、手浴などがあり、手浴は肩の凝りにもよいようです。

「クラリセージ」は女性ホルモン作用があり、やはり、月経痛や不妊治療に用いられます。

のどの痛みには、「ユーカリ」をお湯をはった洗面器に数滴垂らし、タオルを頭からかぶって嗅ぐと良いそうで、かのポールマッカートニーもステージの前にやっていたとか。

「ローズマリーカンファー」は、ダイエットやマッサージに良いそう。

鍼が怖いという患者さんには、アロマの香りで落ち着かせることができ、最近では、歯医者さんでも使われているそうです。

次いで、相川真紀先生によるマッサージ実技が行われました。精油を混ぜるベースオイルは、植物性のならベビーオイルでもよいとのことでした。

オイルはタオルにつくと落ちにくく、シミになりやすいので、茶色のタオルが、シミが目立たなくてよいとのこと。洗剤は、オイルナックスを使うと、油分がよく落ちるとのことでした。

デモンストレーションでは、呼吸が楽になる「手のマッサージ」「鎖骨のマッサージ」。末梢から行なう「片頭痛のマッサージ」など、実用的な内容が盛りだくさんでした。

志茂田先生と私(元吉)は学会活動などで交流を密にしていますが、今回のアロマセラピー、アロママッサージの講義は大変わかりやすく、自身の臨床にも大いに役立つことばかりでありました。

また、「写真で学ぶダイエット・アロママッサージ」がヒューマンワールドから出版されており、DVDもあるので、活用されたいと思います。

続いて午後は、小林詔司(ショウジ)先生に積聚治療の講義が行われました。

積聚治療は日本の伝統鍼灸理論に基いた、小林先生独特の治療法です。小林先生の積聚治療の要諦を以下に記載します。

積聚治療の要諦

1. 人は精気で生きる。
2. 病は精気の虚によって生じる。
3. 治療とは、精気の虚を補うことである。
4. 諸症状をまとめて指標という。
5. 指標に基づいて、診断と治療を行う。
6. 腹部の異状を積聚といい、全身状態の反映と診る。
7. 基本治療は、腹証に基づいた膀胱経2行線の治療を主とする。
8. 基本的な治療手段は、毫鍼か鍔鍼である。
9. 治療には意識を用いる。
10. 必要に応じて補助治療を加える。

参加者をモデルにしての実技が行われました。脈を調整し、腹部に接触鍼をすることによって腹を緩め、しこりの有無などで、腹診をして証を立てていきます。

この時、汗が出るなどの反応があるので、汗が出ている場合は、タオルなどで吹きながら触診をしていきます。

次に腹証に基づいて、背部に治療を行い、背部は上下に五行配当します。

五行として、「第1胸椎上線から第4胸椎上線を金性」「第7胸椎上線までを火性」「第11胸椎上線までを木性」「第2腰椎上線までを土性」「ヤコビー線までを水性」とします。

腹症により、「心虚症」では木火金水、「脾虚症」では火土水木、「腎虚症」では金水火土、「肝虚症」では水木土金、「肺虚症」は土金木火の順で鍼治療をおこないます。

膀胱経2行線を中心に治療をおこなっていきます。「陰虚病症」に対してはこの順番が適しますが、その他の「実的病症」、「陽虚病症」にはこの反対の順番(逆治)が適します。

「鬱症」などにたいしては、火木水金の順番で治療すると良いそうです。

鍼は鍼先が卵型のSJ(積聚)鍼を用い、ほとんど刺入しない押圧鍼を行い、散鍼よりも丁寧に行っていきます。SJ鋳鍼を用いることもあるそうです。

志室などを指標として、圧痛点や硬結のある反対側を治療し圧痛点、硬結を緩めるなどの特徴ある実技を見せていただきました。

人間は精気によって生きているので精気が減ると病気になりやすいですし、あるいは病気になることもあります。精気がなければ生命を維持できません。鍼灸治療とは精気を補う方法であるということが理解できました。

小林先生とは学会などで、ずいぶん昔からお話を聞く機会がありましたが、懇親会などでも親しくさせていただきました。

15年前には、研修会で積聚治療を見聞し、その当時、医道の日本社から『積聚治療 気を動かし冷えを取る』が出版され、記念にサインをいただきました。その時に「人は気なり」という言葉をいただき、2015年10月に医道の日本社より『続・積聚治療 精気を補う』が出版されたおりにサインをいただき「指標を重視」の言葉をいただきました。

共にありがたい言葉であり、今後の臨床に活かしていきたいと思います。今回の研修会は私にとって、また積聚を長く実践し、遠方から来られた参加者の方々も、学生、初学者にとっても、鍼灸臨床にとって多くの気づきのある時間をいただいたと思います。

鍼灸マッサージ祭り

～県民公開講座～

9/11（日曜日）千葉市民会館小ホールにて、鍼灸マッサージ祭り～県民公開講座～を開催いたしました。

当日はあいにくの天候でしたが、女性落語家さん二名という、業界ではレアな形での開催となったため、100 名を超す、多くの県民の皆様は足を運んでいただくことができました。

女性落語家さんは、去年も出演頂いた「三遊亭美るく」さん、もう一方に「林家ななこ」さんお呼びして、健康に関する落語をしていただきました。

当会は、例年通りボランティア施術を行いました。

「去年も来たのよー！」と、うれしいお言葉もたくさんいただきながら、県民の方々と楽しく施術をすることができ、充実した時間を過ごすことができました。



無資格者による医療過誤で健康被害が出ている現状をお話しさせて頂きました。その後、お客様のから、「〇〇地区で良い治療院は無いですか？」という問い合わせがあり、住所が分かれば、なるべくその近くの当会の施術者をご紹介させていただくなどの配慮をさせて頂きました。

抽選会や落語も、たいへん結構な盛り上がりを見せ、盛会のうちに終わることができました。県議会の先生方も、ご挨拶に来ていただき、落語家さんとともに、ボランティアマッサージを受けていただき、ご理解を深めることができたかと思います。

最後に、ボランティア施術者、事務局、各理事、ご協力くださった皆様、大変お疲れ様でした。



東洋療法推進大会 in 東京

9月22日・23日の両日におきまして、『第15回 東洋療法推進大会 in 東京』が品川プリンスホテルにて開催されました。

今大会は、全鍼師会法人化35周年、協同組合設立20周年の節目に当たる年であり、また、春の叙勲において、杉田久雄（すぎたひさお）会長が旭日小綬章を受章されたこともあり、記念となる大会となりました。

1日目には、それぞれの式典、祝賀会が催されました。

記念講演として、帯津良一先生（帯津三敬病院名誉院長）、室伏由佳先生（2004年アテネオリンピック女子ハンマー投日本代表）をお迎えして、貴重なお話をさせていただきました。

2日目には、学術・保険推進・無免許対策・災害対策の4つの委員会により講座が開かれ、無事に2日間を終えることが出来ました。

今回の開催にあたり、ご尽力をいただきました皆川浩一東京都師会長をはじめとする東京都師会の先生方、全鍼師会実行委員の先生方、本当にお疲れさまでした。

来年は千葉県で関東甲越地区ブロック大会があり、運営するにあたりとても勉強になりました。



☆☆記念講演①☆☆

テーマ：東洋療法と養生～『粋な生き方』

講師：帯津良一先生(帯津敬三病院名誉院長)

名誉院長をされている帯津敬三病院では、西洋医学と中国医学などの代替療法を融合されながら、治療にあたっているそうです。

「ホリスティック医学」の第一人者帯津先生は人間を、スピリット(Spirit)、ボディ(Body)、マインド(Mind)の統合体としてとらえることが「ホリスティック医学」を理解する第一歩であるとのこと。

白隠禅師のお話からは、呼吸法の大切さのお話。

司馬遼太郎の著書「草原の記」のお話では、唱歌の「故郷(ふるさと)」一節

♪こころざしをはたして

いつの日にか帰らん

山は青きふるさと

水は清きふるさと

を引用されながら、養生の最終目的であるとおっしゃる「虚空」についての説明などがされました。病院で息を引き取ったあとの患者様を見ていると、ふといい表情になるとのことで、この世でお務めを果たして故郷に帰っていくときにその安堵の顔になるのだそうです。

がんなどの治療については西洋医学が得意とする、治ったか、治らないかの「二極化」ではなく「一步前進」の医療(治療)も必要である。代替医療には、この「一步前進」の医療が可能だということで、我々の治療にも大変期待しておられるようでした。

哲学者の九鬼周造さんの『「いき」の構造』の引用から、粋な生き方というのは
” 垢抜けして、張りがあって、色っぽい”
様子だとのこと。

先生の解釈では「垢抜けして」とは、どこかで一休みして諦める気持ち。

「張りがあって」とは、人生の目標に対して心意気があふれている様子。

「色っぽい」とは、命のエネルギーや性的魅力があふれている様子とのこと。

その他にも「自然治癒力」や、帯津先生の晩酌やお昼寝のお話など、ユーモアを交えながら大変貴重な講演でありました。

☆☆記念講演②☆☆

テーマ：スポーツと体の対話～コンディションを把握する大切さ～

講師：室伏由佳(2004 年アテネオリンピック女子ハンマー投日本代表)

女子円盤投、ハンマー投のアスリートとして活躍された現役時代を、お父様でありコーチの重信氏とのエピソードなどを交えながらの講演でした。

現役時代の大部分は、原因不明の腰痛を抱えながら競技をされていたそうです。それでも好成績を出せていたことや、近くに病院や治療院などの施設がなかったことから、しっかりと治療に向き合うことはできていなかったとのこと。実際に大会前には腰痛で歩くのにも支障が出ていたのにもかかわらず、その大会で優勝出来たり…。(報道だけではわからなかったですが、本人から直接伺うともの凄いリアリティがありました)

また練習で良い記録が出ていても、大事な本番の大会では緊張して結果が出ないなど、メンタル面の弱さもあったとのこと。それでも心と体を必死にセルフコンディショニングしながら、競技に無我夢中だったそうです。

競技人生の晩年には、ようやく信頼できる理学療法士との出会いがあり、専門的な医学的知識を得ながら競技が出来るようになったそう。

スポーツ医がさらに専門の医師を紹介してくれて痛みの原因が特定し、痛みが軽減した経験談も披露していただきました。

講演受講者しか見られないという室伏先生の血液検査の数値や、画像所見なども見せていただき大変貴重な講演でした。

文責：梶 貴雄

☆☆あはき療養費検討専門委員会報告と今後の展望を聞いて☆☆

皆様、いつも県師会の活動にご理解をいただき、ありがとうございます。

この度、9/22 木曜日から二日間、東洋療法推進大会 in 東京に参加させていただきました。初日には、帯津先生と室伏由佳元オリンピック代表の貴重な講演を聞かせていただき勉強になりました。

二日目に、今回ご報告させていただく、療養費の今後の展望とのことで興味深かったためレポートさせていただきます。

保険推進委員長の神奈川・往田先生は、厚労省と何度も折衝を重ねており、非常に療養費に精通しております。厚労省との会話を含めての報告でした。

まずは**受領委任制度の導入**の件報告があり、厚労省とのやり取りがありました。

団体側から、患者の利便性の向上などを理由に導入を交渉しますが、なかなか進展せず、今秋から来春にかけて、最低三回の交渉を重ねてから、導入するかを厚労省が検討をするそうです。今後の専門委員会に期待をしたいと思います。

療養費改訂ですが、医科本体が 0.56%の改定があり、その半分の 0.28%のプラス改定を専門委員会は堅持できたとお話していただきました私個人としては、厳しい改定かと思っておりましたので、すごいと思いました。(9/23 付にて厚労省から正式に通知が出ているようです)

療養費の文言の中で、「**定期的・計画的に行ってはならない**」の解釈の変更を専門委員会で獲得でき、上記にこだわらず施術をすることが可能となったようです。

医科の**往療**の概念ですが、団地であれば同一家屋とみなしているようです。ということは、療養費は医科をベースにしているので、同一家屋内では往療費は取れなくなる可能性が高くなります。大型集合住宅や有料老人ホーム等の建物は、今後は、往療費を一名しか取れない可能性も出てくるかもしれない・・・、とのことでした。

文責：川端 隆治



☆☆学術委員会講座☆☆

『よくわかる地域包括ケアシステム』と題しまして、西嶋康浩氏（厚生労働省 老健局老人保健課介護保険データ室長）より、「地域包括ケアシステムの概要と多職種連携」～鍼灸マッサージ師の役割～として、我々が担うべきことを伺いました。

長嶺芳文氏（地域健康づくり委員会 委員長）より、「介護予防・総合支援事業の実際」として、事例としてご自身が行っている介護予防事業についてお話していただきました。

西村博志氏（学術委員）より、「はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧施術受療者の生活機能に関する調査報告」として、フレイル高齢者がどの程度受療しているのかを目的とする報告がありました。

それぞれに大変興味深い話が聞け、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧を治療院内外でどのように活用して、これからの鍼師・灸師・あん摩マッサージ指圧師がどうあるべきか、一つの方向性を示せることのできる講座でありました。

文責：濱田将光



☆☆無免許対策委員会☆☆

「無資格者との差別化方策の方向性」厚労省 100 点満点の回答＜今後の活動＞

厚生労働省医政局医事課の佐生啓吾医事専門官もパネリストに参加し、報告や説明が行われました。報告の中心は今年 6 月に厚生労働省から各都道府県知事宛に出された「施術所に関して広告し得る事項の一部改正」に関する通知の内容でした。

- ①有資格者施術所において、厚生労働大臣免許を有するものである旨を広告・掲示する。
＜施術所外部広告・掲示＞…千葉県師会の「施術所プレート」も全国に先駆けた好事例として紹介されていました。
- ②施術所内に、
 - 1) 保健所に届け出た施術所であることの記載
 - 2) 免許証又は免許証の内容(資格名、氏名、施術者登録番号)を記載した書面を掲示する。＜施術所内部広告・掲示＞
- ③患者が国家資格者による施術と認識できるようにするため、施術者自身も免許登録番号等を記載したネームプレートを着用する。＜厚生労働大臣免許保有証＞

後半部分では、参加者とパネリストの活発な質疑応答が行われました。どれも鍼灸マッサージ師の将来に向けた、社会的な価値を高めるための建設的な議論がありました。国民の為に安心安全な治療を提供し、健康増進、公衆衛生の向上などに貢献したいという熱い想いにあふれる講座でした。

閉会式において、全日本鍼灸マッサージ師会の旗が、東京都鍼灸マッサージ師会から、京都鍼灸マッサージ師会に託されました。

来年の東洋療法推進大会は京都で開催されます。

皆様、奮ってご参加ください。



今後の予定

日程	内容	場所
10 月 30・31(日)(月)	関東ブロック協議会 in 茨城	ホテルマロウド筑波
11 月 27 日(日)	地域健康づくり指導者研修会 in 千葉	県師会事務所
2 月 26 日(日)	第 2 回学術研修会	県師会事務所

※以上の予定につきましては、それぞれ書面をもって通知いたします。

ご不明な点は事務局(tel043-301-3489)までお問合せ下さい

★☆☆あはき天来☆☆★

～鍼灸マッサージコラム～

東洋医学の未来に向かって

千葉大学大学院医学研究院神経内科学 村上えい子

今日では東洋医学の発展は素晴らしい時代となっている。主な大学病院での活躍や様々な医療機関で研究や臨床に携わる人も多くなっている。このような時代になってきたからこそ専門分野でしっかり学んで行かなければならないと思う。

私は大学病院に席を置いて 38 年になります。開業しながらの研究や臨床に携わってまいりました。東洋医学を学び始めたころは世の中が東洋医学に対し理解のある医療機関は少なかったと記憶している。昭和 43 年秋から千葉大学東洋医学研究会のサークルに入り、東洋医学自由講座に参加し学び始めた。参加している大勢の学生は輝かしい目をして先輩の先生の講義を拝聴していた。私はこのような学生さん方も見て感動し、この頃からますます東洋医学の学問にのめり込んでいった。

昭和 45 年の秋、北海道へ学会に行ったとき、会場であった北海道大学の庭に建っていたクラーク博士の銅像の前で東洋医学の発展、鍼灸の発展の向上に努めようと宣誓をした。

臨床に慣れてきた時、いろいろ経験して解かってきた時は特に自分に言い聞かせ(初心に戻れ)と言い聞かせてきた。鍼や灸を施行するに対し基礎の方法論が書に書かれている。それは陰陽・虚実・原穴・郄穴・五腧穴・募穴・腧穴・特効穴と学ぶことが重要であると思っている。例えば、私が経験した症例では、癌末期症状の人は体全体に力もなく症状を把握することに困難であることが多い。このような虚証の患者様に治療をする際に役になった。

最近ファックスで仕事場へ経営のことや金銭にかかわることがよく送られて来ます。生きていくには重要であることは解るがそのことばかり力を入れては発展にはつながらない。勉強の嫌いな人も多いと思いますが、患者様から病気に対し質問されたら答えられるような先生になれるように努めたいと思う。また患者様からマッサージを依頼され、首だけ 30 分、40 分と依頼されるままにするような治療法ではなく血圧の高い患者様には危険である説明ができるような臨床家になって行けることを願っている。最近、鍼の施術では現在でも衣服の上から施術する先生がいらっしゃることを患者様から聞きました。やはり現代では曲がり通らないことだと思います。

鍼灸師会のセミナーの開催に多くの先生方の積極な姿勢に学生の頃を思い出しています。

鍼灸の更なる発展に心から願っています。

千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

廃鍼事業

協同組合では感染性廃棄物の処理を適切に行っていただくために、下記の内容にて廃鍼事業を行っております。

7L 2,100 円(税別)	20L 2,520 円(税別)
	

鍼灸マッサージ管理システム(レセプトシステム)

治療院向け業務支援、療養費支給申請書作成支援のための鍼灸マッサージ管理システムの提供を開始しました。毎月の申請書作成業務にかかる事務作業が軽減できるシステムとなっております。是非、ご活用ください。

【メリット】

- インストールの必要がなく、すぐに使い始められる
- 患者様のカルテ情報と日々の施術記録から申請書を作成できる
- 同意書の管理ができる(同意書有効期間のチェックも簡単)
- 患者様の予約をスケジュール表で管理できる
- 事務局に提出する書類が自動で作成できる
- 審査チェックや数字が自動計算され、間違いがほとんど起こらない
- 往診距離を自動で計算できる
- 一部負担金の未入金管理が出来る
- 申請書を送付してから決定されるまでの進捗状況が一目瞭然でわかる
- 音声読み上げソフトに対応し、視覚障害者の方でもご利用可能
- スマホ、タブレットでも作業が可能
- 使用方法など分からないことは事務局でサポートします
- 審査手数料が5%⇒4%に減額するプランも選択可能

自由診療の施術記録、予約管理は無料でご利用いただけます。
お申込み、お問合せは県師会事務局までお気軽にご連絡ください。





発行 公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿 1-8-11
千葉新宿ビル 3 階
Tel.043-301-3489 Fax.043-301-3499
<http://www.harikyumassage.jp>

発行責任者 石川英樹
編集責任者 西村亮輔